

令和 7 年第 6 回教育委員会会議録		
開催日時	令和 7 年 6 月 2 7 日（金） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 0 2 分まで	
開催場所	深川市役所 第一委員会室	
出席委員	教 育 長 三 浦 浩 二 委 員 宮 田 嘉 明 委 員 轡 田 光 章 委 員 倉 本 茂 子 委 員 阿 部 み ど り	傍聴者の人数 傍聴 <u> 0 </u> 人
出席職員	教 育 部 長 伊 藤 正 志 学務課 課 長 佐 藤 之 彦 管理係主査 澤 田 小 由 美 生涯学習スポーツ課 課 長 久 保 田 慎 二	

（開会）午後 1 時 3 0 分

○三浦教育長

ただいまから令和 7 年第 6 回深川市教育委員会定例会を開会いたします。

議事日程 2. 会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員には、会議規則第 5 条第 1 項第 2 号の規定により、倉本委員を指名します。

次に、本日の会議の議案で非公開とする案件について発議します。

審議事項の議案第 3 3 号「深川市教育委員会事務局職員の措置について」及び議案第 3 6 号「深川市教育委員会事務局職員の人事異動について」は、会議規則 第 1 4 条 第 1 項 第 2 号に規定する「任免、賞罰等職員の身分取扱いその他の人事に関する事項」であること、また、議案第 3 4 号「深川市青少年問題協議会委員の解任・任命について」は、会議規則 第 1 4 条 第 1 項 第 3 号に規定する「附属機関の委員の任免又は委嘱に関する事項」であることから当該 3 件については非公開にしたいと思いますが、異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○三浦教育長

異議なしと認め、非公開とすることに決定いたします。

議事日程 3. 教育長報告に入ります。前回の教育委員会会議から今回までの間に出席した会議等について報告をいたします。

私から大きく分けて 4 点についてご報告をいたします。初めに 6 月 1 7 日の市議会における教育委員の任命同意について申し上げます。6 月 1 7 日開会の令和 7 年第 2 回市議会定例会において、本年 8 月 9 日をもって任期が満了となります倉本委員を再び任命することについて同意がされております。辞令交付式の日程は、これから調整し恐らく 8 月になると思いますが、今後 4 年間倉本委員には引き続

きよろしく願いを申し上げます。

次に、市内小中学校の運動会及び体育大会について申し上げます。5月30日には市内中学校の体育大会、5月31日と6月7日には市内小学校の運動会が開催されました。いずれの日もおおむね雨に当たることなく、無事に開催できたところでありまして、子ども達にとってもこれまでの練習の成果をしっかりと発揮できる有意義な行事になったものと思います。

次に、ホクレン・ディスタンスチャレンジについて申し上げます。6月11日にホクレン・ディスタンスチャレンジ2025第1戦深川大会を深川市陸上競技場において開催をいたしました。この大会は、9月に開催される東京2025世界陸上競技選手権大会を目指す機会などとして、例年以上に重要な意味を持つ大会となったことから、国内外で活躍する選手をはじめとする、306人がエントリーいたしました。当日は心配されていた雨も競技中は降ることなく、約300人の陸上競技ファンが大声援を送る中、盛会に終了したところであります。

最後に公立高校に関して申し上げます。6月3日に北海道教育委員会は、公立高等学校配置計画を公表し、深川西高等学校の令和8年度募集学級数は9月の計画決定時に公表するとされました。これに先立ちまして、4月30日に地域別検討協議会が開催され、市長から北海道教育委員会へ要望等を行ったところでありまして、この内容につきましては先月の教育委員会会議でご報告したところですが、これらを踏まえまして、6月23日に市内公立高等学校の在り方に関する意見交換会兼魅力づくりに向けた検討会を開催し、関係機関、団体等から意見をお聞きしたところであります。会議の結果については、新聞報道等でご承知のことと思いますが、深川東高校への道外からの生徒受入による入学者の確保について、市長部局から説明を行ったほか、参加者からは、道外からの生徒受入れによる下宿の確保や、下校時の公共交通の確保に関する要望、あるいは通学交通費助成の増額などについて意見があったところであります。いただいたご意見は、高校の魅力づくりに向けて十分検討してまいりたいと考えております。私からは以上です。次に、事務局から報告をお願いします。

○伊藤教育部長

2. 教育委員会事務局業務（1）市議会報告について、報告いたします。第2回市議会定例会は、6月17日から25日までの9日間の日程で開催されました。教育行政報告では、次ページに記載のとおり、1. 児童生徒数と学級編制について、2. 市内公立高等学校2校の配置計画について、3. 令和6年度スポーツ及び文化合宿の状況について、4. ホクレン・ディスタンスチャレンジについて、の4項目について教育長から報告をしております。

表紙に戻っていただいて丸の3つ目にあります教育関係の議案等は、1点目の令和7年度一般会計補正予算第1号について、前回の定例会にて審議議決いただきました寄附金に係る教育振興基金積立金、及び、地域力創造アドバイザー委嘱に伴う報償費等に係る経費を提案し議決されております。2点目の深川市教育委員会委員の任命については、先ほど教育長からご報告いたしましたとおり、倉本委員の再任の同意をいただいております。

次に、丸の4つ目、一般質問については、6月17日から19日までの3日間の日程で行われ、教育行政の質問は、学務課に係る質問として3名の議員から質問がありましたが、生涯学習スポーツ課に係る質問はありませんでした。

それぞれの質問に対する答弁については、答弁原稿を添付しておりますので、後ほどご確認をいただきたいと思いますけれども、主な内容について紹介をさせていただきます。質問者（１）の松原議員からは、不登校についてとして、不登校児童生徒数の状況や、メタバース、いわゆる仮想空間の利用について質問があり、答弁では、不登校児童生徒の直近３か年の状況を述べ、メタバースによる個別学習や教育相談については、現時点で利用の予定はない旨お答えをしております。

次に、質問者（２）の村上議員からは、市内公立高校への進学者数確保に向けた取組についてとして、市内中学校の実績及び市内公立高校への進学者数確保に向けた施策の考えを問う旨の質問があり、答弁では、直近３か年における市内公立高校、滝川市内、旭川市内等の進学者数及び市内公立高校の進学率を述べ、学校等関係者各位との意見交換会を開催して意見や要望を聞き取り、支援の見直しを進めていく旨のお答えをしております。

次に質問者（３）の宮澤議員からは、GIGAスクール端末についてとして、更新後の児童生徒端末の再利用及び廃棄処分する際の端末のデータ処理について、市の考えを問う旨の質問があり、答弁では、本市は国が発出した通知に準じ端末整備更新計画を策定し、計画に基づいた再利用及び処分する旨、お答えをしております。

最後に丸の５つ目、厚生文教常任委員会の所管事務調査が６月２０日に開催されました。７名の委員から深川市学校教育振興計画に関して、一問一答方式による質疑があり、学務課の担当職員が対応したところでございます。以上、市議会報告といたします。

○佐藤学務課長

続きまして（２）業務報告をご覧ください。６月１９日第２６回ダイハツ北海道小学生ＡＢＣバドミントン大会兼第２６回ダイハツ全国小学生ＡＢＣバドミントン大会北北海道予選会出場に係る表敬訪問がありました。こちらは令和７年６月２８日から２９日にかけて帯広市で開催される大会となっておりまして、一已小学校の６年生が３人、４年生、３年生、２年生が各１人、納内小学校の４年生が１人の計７人が全道大会に出場することになっております。

続きまして、６月２５日には深川一已バトルス野球スポーツ少年団が、令和７年６月２８日から３０日にかけて日高町で開催されます高円宮賜杯第４５回全日本学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント南北海道大会に出場することから、表敬訪問があったものです。以上です。

○三浦教育長

報告は以上でございますが、ご質疑はございませんか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

○三浦教育長

なければ、以上で教育長報告を終わります。

議事日程４．報告事項に入ります。報告事項第１９号、教職員の人事について事務局から説明をお願いします。

○佐藤学務課長

資料１ページをご覧ください。人事異動につきましては、本来であれば審議事項

として諮るべきところですが、事務手続きの関係から報告となったものです。

本件は一已小学校に関わる教諭の人事異動になります。最初の解職発令につきましては、令和7年6月2日に佐藤聖華教諭から6月6日付で退職する旨の申し出がありましたことから、北海道教育委員会に対して内申を行いまして、6月6日付で退職辞令が発令されたものです。

次の7月1日付の発令につきましては、年度当初から生じている欠員1名の補充に、生田一彦さんを期限付教諭として、令和7年7月1日から令和7年9月30日までの任用を発令するもので、既に北海道教育委員会に内申を提出しているため、報告とさせていただきます。期限付教諭につきましては、雇用形態が臨時職員であり任用期間が最大6ヶ月間となっておりますが、任用期間の更新を行うことができるため、今後10月1日付で3月末まで任期を延長する予定です。

これにより、一已小学校における教員の配置状況は、年度当初の欠員が解消されたものの、新たに1名が退職したことにより1名の欠員となっているものです。以上、報告とさせていただきます。

○三浦教育長

ただ今の説明について、ご質疑は、ございませんか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

○三浦教育長

次に、報告事項第20号、学校会計年度任用職員の任用について事務局から説明をお願いします。

○佐藤学務課長

資料2ページをご覧ください。本件につきましても人事案件となりますが、事務手続きの関係から報告となったものです。

任用する養護教諭初任者研修講師につきましては、新規採用の養護教諭がいる場合に、校内で新規採用養護教諭への研修を行う指導教員の後補充や、北海道教育委員会が実施する研修に新規採用養護教諭が参加した時の後補充として任用するものです。任用期間は、令和7年6月25日から令和8年3月31日までとなります。説明は以上です。

○三浦教育長

ただ今の説明について、ご質疑は、ございませんか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

○三浦教育長

以上で、報告事項を終わります。

議事日程5. 審議事項に入ります。議案第33号、深川市教育委員会事務局職員の措置についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

(議事内容は、深川市教育委員会会議規則第14条第1項2号に基づき非公開)

○三浦教育長

ないようですので、本件、原案のとおり決定することに、異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○三浦教育長

異議なしと認め、原案のとおり決定いたします。次に、議案第34号、深川市青少年問題協議会委員の解任・任命についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

(議事内容は、深川市教育委員会会議規則第14条第1項3号に基づき非公開)

○三浦教育長

異議なしと認め、原案のとおり決定いたします。次に、議案第35号、深川市地域力創造アドバイザー設置要綱の制定についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

○久保田生涯学習スポーツ課長

資料5ページをご覧ください。本制度の活用に係る補正予算案につきましては、アドバイザーの招聘に必要な経費として644万円を計上し、前回の教育委員会定例会にてご審議いただいた後、先日閉会した市議会第2回定例会におきまして議決されました。このアドバイザーを設置するための要綱制定について、市長に対し行う申出の内容についてご審議いただくものでございます。

第1条では、その趣旨として、地域の魅力及び価値を向上させながら、地域力を高め、地方創生及び地域活性化につなげるための活動の指導及び助言を行う地域力創造アドバイザーの設置について必要な事項を定めるものとしています。

第4条では、アドバイザーの任期を原則として1年以内とし、3年を超えない範囲で更新できることとしておりますが、実際の運用におきましては、年度単位での委嘱期間を設定する予定をしております。

第5条では任務を記載しておりまして、その任務は(1)から(6)までで、市にアドバイスをいただける、広範囲をカバーできる内容としておりますが、現時点の考えといたしまして、アドバイザーの支援を受けられる3年間のうち、生きがい文化センターの在り方に関しては、令和7年度と令和8年度の2年間で予定しておりまして、今年度中には一定の方向性を導き出したいと考えているところでございます。残る1年間は、教育委員会に限らず市のどの部署における課題でもアドバイザーの支援を受けることができる表現としております。その他の条文につきましては、説明を省略させていただきます。以上、説明とさせていただきます。

○三浦教育長

それでは、ご質疑をお受けします。轡田委員。

○轡田委員

このアドバイザーは、どういう形で募集をかけるのでしょうか。総務省の地域人材ネットに登録されている方に、深川市がアドバイザーを求めていますとお知らせして、向こうから手を挙げていただくのでしょうか。

○三浦教育長
お答え願います。

○久保田生涯学習スポーツ課長

総務省の地域人材ネットには、例えば施設のリノベーションですとか、人を呼び込むといった様々な専門家の方が600人以上登録されておりまして、今回の生きがい文化センターの在り方を検討するアドバイザーは、その600人の中から、北海道を中心に活動してきた方、そして、施設の統廃合を含む施設の利活用について専門的な知識をお持ちの方や実績のある方をこちらで選び、相手方と交渉してアドバイザーとして委嘱するという形になりますので、こちらがある程度絞り込んで交渉するという選び方となっております。

○三浦教育長
その他、ご質疑はございませんか。倉本委員。

○倉本委員

このアドバイザーは、今後のことについてどういうやり方があるか、そのまま継続かどうか、そういうことも含めて、生きがい文化センター限定のアドバイザーということでしょうか。

○三浦教育長
お答え願います。

○久保田生涯学習スポーツ課長

先月の定例会でも説明させていただきましたが、改めて制度活用に至った経過を申し上げますと、平成4年に開館して以来、生きがい文化センターは地域の生涯学習の拠点施設として多くの方に利用されてきましたが、開設から30年以上が経過し施設の老朽化が進行しまして、特に配管設備の劣化などが顕著となり、今後の安全性や快適性の確保に向けた対応が急務となっております。また、生きがい文化センターの管理運営に係る経常経費が年間1億円を超え、財政的な負担も大きくなっておりまして、施設の維持改修に多額の費用が見込まれる中で、今後の施設の在り方や利活用の方向性について抜本的な見直しが必要となっているところです。

このことについては、過去の市議会でもお答えしているところですが、単なる縮小や修繕対応ではなく、施設の再編や他の施設との役割分担、地域ニーズに即した活用方法等、幅広い視点からの検討が必要ということで、国から予算措置がされる人材バンク制度を活用して、施設の在り方の見直しを検討していくというものでございますので、ただいまの倉本委員の質問に対するお答えとしては、生きがい文化センターの在り方について検討するもの、となります。

○三浦教育長
その他、ご質疑はございませんか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

○三浦教育長

ないようですので、本件、原案のとおり決定することに、異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○三浦教育長

異議なしと認め、原案のとおり決定いたします。次に、議案第36号、深川市教育委員会事務局職員の人事異動についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

(議事内容は、深川市教育委員会会議規則第14条第1項2号に基づき非公開)

○三浦教育長

異議なしと認め、原案のとおり決定いたします。以上で、審議事項を終わります。議事日程6. その他について、まずは事務局から説明をお願いします。

○佐藤学務課長

(1)の市議会予定につきましては、今のところございません。(2)業務予定につきましては、15日には、令和7年6月12日から13日にかけて開催されました、第70回北海道高等学校ワープロ競技大会兼第72回全国高等学校ワープロ競技大会北海道予選において、一巳中学校の卒業生である総合ビジネス科2年生の松平さんが優勝し、7月29日から東京で開催される全国大会に出場が決定したことから、表敬訪問に来られる予定となっております。以上です。

○久保田生涯学習スポーツ課長

続きまして生涯学習スポーツ課の業務予定です。7月5日に第2回の市民公開講座が開催されます。エクセルの具体的な活用方法を学ぶとするものでございます。7月11日、12日は文化交流ホールみ・らいの開館20周年を記念したコンサートが開催されます。説明は以上です。

○三浦教育長

ただ今の説明についてのご質問、あるいは、その他で、委員のみなさまから何かございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○三浦教育長

これをもちまして、本日提案された案件は全て終了いたしました。以上で令和7年第6回深川市教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れ様でした。

(閉会) 午後2時02分

以上、会議の会議録に相違ありません。

令和7年6月27日

教 育 長 三 浦 浩 二

会議録署名委員 倉 本 茂 子

会議録調製者 澤 田 小由美